

ページ	質問議員	質問事項
10	栗原恵子	●「子ども・子育て支援新制度」について ●「病児・病後児保育」事業について ●「新オレンジプラン」について
11	奥田とみ子	●急がれる認知症対策 ●自殺防止対策 ●交通弱者対策の推進
11	戸張光枝	●伊奈町男女共同参画プランに関して ●通教指導教室及び特別支援学級に関して
12	中原敦子	●伊奈町次世代育成支援及び子ども・子育て支援事業計画について
12	大沢 淳	●愛犬家のモラル向上とドッグランの整備 ●障害を持った子どもの療育環境の充実と学齢期の放課後等の活動保障 ●私立認可保育園の増設が続く中で ●放課後児童クラブの昼食 ●スポーツ行政推進と体育施設の整備 ●教室でのエアコン使用基準
13	上野克也	●マイナンバー制度 ●AED 24時間使用可能に ●防災対策 ●防犯対策 ●障がい者支援
13	上野尚徳	●公共交通網の整備について ●公園の整備について ●県の施設の利用について ●防犯カメラを利用した防犯・不審者対策について
14	五味雅美	●国民健康保険税 ●信号機設置や道路標識などの整備 ●小学生の下校時見守り ●調整池の底地利用について
14	村山正弘	●ふるさと納税制度と町の対応 ●伊奈町地方総合戦略策定進捗状況
15	水上邦雄	●震災対策について ●持続可能な農業を ●少人数学級の推進を



10人が登壇

6月定例議会は、10人の議員が一般質問を行いました。質疑応答の要旨は質問した議員が要約したものです。なお会議中の発言と答弁は、伊奈町議会ホームページおよび図書館に備えてある会議録でご覧になれます。

(8月下旬掲載)



伊奈町議会

検索

認知症の早期発見が一番の予防策ではないか



栗原恵子 議員

新オレンジプラン

認知症の取り組みは。

答 認知症サポーター養成講座、青年後見講座、裁判所申し立て費用の一部助成、介護者教室や介護者交流会を開催、65歳以上の住民を対象に、読み書きや計算を行うことで認知症の発症を予防し、

進行を遅らせる脳の健康教室の実施を予定している。

子ども子育て支援事業

問 都市化が進み地域コミュニティを創るには大変厳しい状況のもと、子どもを地域の宝として育てていく仕組み作りが大変重要ではと考えるが。

答 実地施設1か所年間968人を確保しているが、この数値は1日4名週5日間48週の実施とした数値。



北保育所
子育て支援センター内にて人形劇開催

※新オレンジプラン

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すもの

急がれる認知症対策



おくだ
奥田とみ子 議員

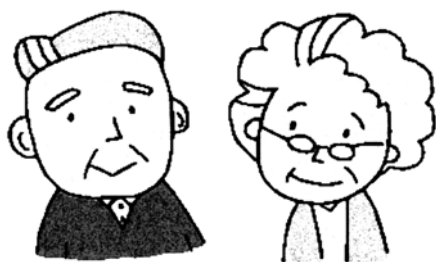
問 認知症有病者数は。
答 要介護認定者1244名のうち770名が、認知機能低下による支援を受けている。

問 認知症の対策は。
答 認知症の理解を図るサポーター養成講座を開催し、1265人の認知症サポーターが誕生している。又、認知症高齢者

等の権利擁護として、成年後見制度申し立て費用の一部を助成している。

予防対策では、「脳の健康教室」を今年度実施予定。

問 認知症初期状況が自分で簡単にチェックできる「認知症チェックシート」の導入の考えは。
答 認知症の予防、早期発見に大変有効。内容や



認知症高齢者等にやさしい地域づくりを!!

財政面を考慮し導入に向け検討していく。

問 効果的な認知症予防体操の普及の考えは。

答 大変有効な手段と考える。今後検討していく。

自殺防止対策のために

問 パソコン・携帯電話から自分の心の状態が確認でき、相談窓口につながる「心の体温計」チェックリストの導入の考えはあるか。

答 一定の効果があると思われる。町は同様のシステム「こころの目」を採用する。しかし、関係システムの導入については、状況を見て検討する。
※ 他に、交通弱者対策の推進を質問した。

全ての女性が輝く社会へ



とばりみつえ
戸張光枝 議員

問 マザーズ・ハローワークなど具体的な取り組みは。

答 職場復帰、再就職を目指す女性のための情報提供サイトが開設された。周知を積極的に図っていく。町の新規事業として女性の再就職支援セミナーを開催する。

問 セミナーの開催時期と内容は。子供連れの参加は可能か。

答 10月の開催に向け準備中。キャリアデザイン、実践的プログラムも考えている。無料の保育サービスも検討中。

問 障害者の就労支援体制は。



通級指導教室がある小針小学校

答 上尾・桶川・伊奈雇用対策協議会で就職面接会を開催。

問 開催場所と時期、交通費の助成制度はあるか。

答 昨年10月さいたまスーパーアリーナで県南地域就職面接会を実施。本年度も開催予定。周知を図る。交通費の助成はない。

通級指導教室と特別支援学級に関して

問 中学校における通級指導教室開設の見通しは。

答 現在のところ、中学校での通級指導教室の開設は難しい。学習や生活上の困難の改善に向けて、今後よりよい教育環境の整備に努めたい。

健康増進課との連携で虐待対応に一層の強化を



なかはらあつこ
中原敦子 議員

放課後児童クラブ

問 全児童クラブ統一の「保育マニュアル」は完成しているか。

答 平成27年1月に、「放課後児童クラブ・活動の手引き」を作成した。

問 全児童クラブへのAED設置計画の詳細は。

答 今年度各小学校に、

放課後児童クラブ用AEDを各1台、つ合計4台を設置する予定で、現在準備を進めている。

ひとり親家庭等の自立支援の推進

問 施策の取り組みの中に、ひとり親家庭の子どもに対する施策も必要ではないか（学習支援）。

答 施策の取り組みの中に、ひとり親家庭の子どもに対する施策も必要ではないか（学習支援）。



すべての親子が、笑顔で毎日を送れるように、しっかりと支援を望みます

答 ひとり親家庭等医療費支給事業や、児童扶養手当給付事業など、経済的な援助を中心として実施していきたいと考えている。

問 児童虐待防止対策の充実

答 児童虐待予防を担う健康増進課と子育て支援課の連携によって、虐待対応の一層の強化を。

問 「要保護児童対策地域協議会」による、年1回の代表者会議を実施し、子育て支援課・健康増進課・町教育委員会・県児童相談所による実務者会議の開催、虐待事件が発生した場合には、関係課の個別ケース検討会議を開催して、連携を図っている。

町民体育館の整備を



おおさわ じゅん
大沢 淳 議員

問 町民体育館の整備を。

答 議会の意見書を尊重し、ゆめくるを建設した。計画的な施設の改修・確保を進めていく。

問 体育施設の稼働率は。

答 ゆめくるの体育室は休日85%、平日が91%。

愛犬家のモラル向上とドッグランの整備

問 狂犬病予防接種の接種率は。

答 83%、未接種の犬は文書でお願いしている。

問 糞害対策は。

答 広報等で呼びかけ、糞持ち帰りの看板を配布している。



ゆめくるの体育室

問 公設でのドッグランは。

答 県内に11例ある。

問 障害を持った子どもの療育環境の整備と学齢期の放課後等の活動保障

問 放課後等デイサービスの時間延長へ支援を。

答 8時間に延長すると延長加算がある。

放課後児童クラブの昼食

問 弁当宅配サービスを利用することは。

答 職員の意見を聞いて検討する。

教室のエアコン

問 使用基準と運用方法は。

答 室内の温度が30度を超えた日に25度から28度の範囲で使用する。運用判断は学校長に委ねる。

国保都道府県化をどう受け止めるか



ごみまさみ
五味雅美 議員

問 国民健康保険税の納付状況と滞納者・低所得者への相談状況、国保都道府県化への町の対応方針は。

答 国保税滞納世帯数のうち所得2百万以下の滞納世帯数は40・3%。滞納者・低所得者への相談に努めている。国保都道府県化の詳細はこれからだが、急激な保険税の上昇が起きにくくなる、予期しない医療費の増加による財源不足が解消されるなどの効果が見込まれる。



中山住宅調整池

問 信号機設置の要望と道路標示等の整備の状況。

答 現在警察への要望は33箇所。標識等の整備は、パトロールや通報などにより随時対応、また警察へ要望。

問 小学校の下校時見守りの状況。

答 危険箇所地図を作成し把握を行う。スクールガード・リーダーや学校応援団・ボランティア等で実施している。

問 調整池の底地利用できないか。

答 雨水貯蓄、洪水被害の減少が目的であり、構造的に、開放することはできない。

ふるさと納税を重要財源とし研究すべきだ



むらやまさひろ
村山正弘 議員

ふるさと納税制度と町の対応

問 ふるさと納税は住民税の20%を上限として経費分2千円を除き還付される制度である。

寄付を集める自治体は、謝礼に魅力ある記念品カ

タログをホームページに掲載し成功している。町は、商工会、農業団体、行政全体でふるさと納税を検討すべきだ。

答 記念品や商品の開発が町の産業振興につながる事から29品目を検討し



柴中荻朝風景

ている。多くの人からの寄付に努力していく。

伊奈町地方総合戦略策定進捗状況

問 県内の動きから、人口ビジョンと共に、計画策定には県の方針待ちでなく町独自の策定を提案すべきだ。

答 町長を本部長の「伊奈町「まち・ひと・しごと創生本部」」を6月3日に設置した。

産業・教育・金融関係からなる「外部有識者による推進組織」も設置し意見集約や人口の現状分析、ビックデータを活用した情報収集など具体的計画策定作業を進めていく。将来の人口維持を目指す5年間の計画だ。

持続可能な農業を



みずかみ けんじ
水上邦雄 議員

問 自給率向上を図る施策は。

答 農地流動化の推進で耕作放棄地の削減や、新規就農者の掘り起こしや育成を図っていく。

問 農業後継者対策と安全・安心な農産物の提供を目指した直売所設置を。

答 地元からの機運を見きわめながら、今後検討していく。

少人数学級について

問 必要性の認識は。

答 教員が子供と十分にふれあい、個に応じてきめ細やかな指導ができるなど効果があると認識し

ている。

問 少人数学級の実現を。

答 町独自に、少人数学級の推進は厳しい。国、県の動向を見極め、各校の現状を注視しながら、子供たちに行き届いた教育が推進されるよう対応していく。

震災対策について

問 防災拠点の非常用電源の確保は。

答 医療機器使用も念頭に電源確保に努める。

問 新たに南部大公園を避難場所指定したが、

貯留施設との関係は。

答 一時避難場所であり、貯留機能に支障は出ない。

問 ブロック塀倒壊対策は。

答 危険は認識している。人員を含め調査体制整

次第実施する。

問 栄地区に架かる境橋の拡幅を。

答 優先度を考えると難しい。

議会を

傍聴して

みませんか

議会の本会議を傍聴するときは、会議当日に議会事務局窓口で名簿に名前と住所をご記入のうえ傍聴券・資料をお受け取りいただいてから傍聴席にお入りください。

また、委員会の傍聴につきましては、委員長の許可制になっていますので事前に申し込みが必要です。

なお、本会議・委員会ともに、傍聴席の数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

次の
議会は



次回の定例議会の
開催予定日は、

9月4日(金)です。

詳しい日程は
8月下旬に決定します。

